

令和元年度 決算報告書

国立大学法人北見工業大学

(単位 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,374	2,439	65	(注1)
施設整備費補助金	404	404	—	
補助金等収入	—	80	80	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	15	15	—	
自己収入	1,170	1,202	32	
授業料、入学料及び検定料収入	1,094	1,084	△10	(注3)
財産処分収入	—	33	33	(注4)
雑収入	76	85	9	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	151	256	105	(注6)
引当金取崩	—	3	3	(注7)
目的積立金取崩	40	68	28	(注8)
計	4,154	4,467	313	
支出				
業務費	3,584	3,548	△36	
教育研究経費	3,584	3,548	△36	(注9)
施設整備費	419	419	—	
補助金等	—	80	80	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	151	226	75	(注11)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	7	7	(注12)
計	4,154	4,280	126	
収入－支出	—	187	187	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費が交付されたことにより、予算額に比して決算額が65百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得により、予算額に比して決算額が80百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者の減少による授業料収入の減及び徴収対象者数の減少による入学料収入の減により、予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。
- (注4) 財産処分収入については、屈斜路研修所の土地及び建物を売却したため、予算額に比して決算額が33百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、科研費間接経費等の増加により、予算額に比して決算額が9百万円多額となっています。

- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が105百万円多額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、引当金によるPCB処分費用の支払いに伴い、経費相当分を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった事業の増加により、予算額に比して決算額が28百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、経費の節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が36百万円少額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が80百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が75百万円多額となっています。
- (注12) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が7百万円多額となっています。